

佐 賀 大 学 美 術 館
事 業 報 告 及 び
自己点検・評価報告書
令和 7 年度

(暫定版)

令和 8 年 8 月

佐 賀 大 学
美 術 館

目 次

I 佐賀大学美術館の現況及び特徴

概 要

沿 革

組 織 図

○ 令和7年度の活動

1) 展示記録(主催)

2) 展示記録(企画申請)

3) 刊行物

4) 掲載・見学

5) 職員の館外会議・研修

6) 寄附

7) 入館者数一覧

II 自己点検・評価

1 令和7年度の主な活動に関する自己点検・評価

2 今後の課題等

III 外部評価（外部評価委員会開催後）

1 外部評価委員会（令和8年10月開催予定）

I 佐賀大学美術館の現況及び特徴

概 要

平成 25 年 10 月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合 10 周年記念事業の一つとして開館。美術館と併せて整備された正門エリアは「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴し、門扉のない低い正門、そして、水平線が強調され、ガラス張りのファサード（正面）をもつ美術館から成る。そして、佐賀大学美術館は、より多くの人に総合大学である佐賀大学の魅力を知っていただくための情報発信の場として建設された。

平成 15 年の国立大学法人法の制定以来、国立大学はそれまで以上にそれぞれの特徴を打ち出し、存在意義を明確にしなければならなくなった。佐賀大学の特色や強みは何かと言われたとき、60 年以上の歴史を誇り、多くの優れた美術・工芸分野の教員、作家、デザイナーなどを輩出してきた美術・工芸教室の実績は地域に確たる歴史を刻んでいる。このような歴史と実績を背景とし、新生佐賀大学の 10 周年を記念する事業の一つとして、佐賀大学美術館建設はスタートした。総合大学であるにもかかわらず、博物館や資料館ではなく、美術館が建てられた理由もそこにある。

一方、佐賀大学は「COC（センター・オブ・コミュニティ）」を大学の理念として掲げている。すなわち、佐賀大学の大学としての大きな存在意義とは、地域貢献にある。佐賀大学は、佐賀大学美術館を通して地域の文化芸術の促進に貢献するとともに、佐賀大学美術館が地域の人々のコミュニケーションの場となる使命を有するのは、そのような理由があるからである。

佐賀大学美術館は、佐賀大学が所有する資料の公開や、特別教科（美術・工芸）教員養成課程以来の美術作品を収集・保管・展示するとともに、美術の新しい活動や表現を地域の人々とともに作り上げていく。また、佐賀大学美術館は、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していく。

博物館法に定められた美術館の機能である 1) 調査・研究 2) 資料の収集・保存・公開 3) 教育普及の柱を堅持しつつ、なおかつ佐賀大学美術館は、これらの機能に加えて大学の研究教育機関としての役割、すなわち、全学的な教育研究成果の発表、美術教育研究成果のアーカイブ化などを果たしていく。このような「社会教育の場」であるとともに、「大学の教育研究機関」でもあるという位置付けこそが佐賀大学美術館の特徴であり、学生の教育のために積極的にその場を提供し、また、美術館自体も博物館活動を通じて学生への教育を担う。

○ 令和7年度の活動

【沿革】

2011 年 1 月 4 日	学長年頭挨拶で美術館設置計画を発表
6 月 8 日	佐賀大学役員会にて美術館設置諮問委員会からの答申書を報告 美術館の設置を審議・了承。同時に 3WG(設置募金、利用、建設)についても報告
12 月 20 日	美術館基本設計建設コンサルタント選定委員会で基本設計コンサルタント選定
2012 年 2 月 22 日	佐賀大学役員会にて基本設計のイメージを説明、募金趣意書の作成を提案・了承
5 月 14 日	基本設計納入
12 月 29 日	美術館実施設計終了
2013 年 2 月 14 日	新営工事起工式
6 月 26 日	美術館規則、美術館運営委員会規定制定
8 月 30 日	美術館建設工事竣工
9 月 28 日	佐賀大学統合 10 周年記念式典・佐賀大学美術館開館記念式典
10 月 2 日	一般公開開始
2014 年 10 月 24 日	入館者 5 万人達成
2015 年 1 月 22 日	第 18 回佐賀市景観賞受賞
2016 年 2 月 19 日	入館者 10 万人達成
2018 年 12 月 8 日	入館者 20 万人達成
2020 年 12 月 2 日	入館者 25 万人達成
2023 年 9 月 8 日	佐賀大学美術館開館 10 周年記念式典
2023 年 11 月 24 日	入館者数 30 万人達成
2025 年 8 月 24 日	入館者数 35 万人達成

〔設立主旨〕

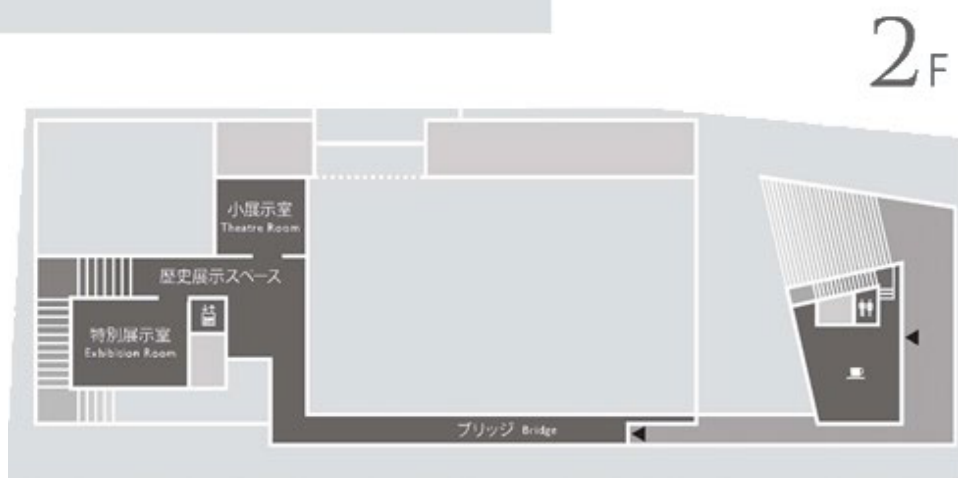
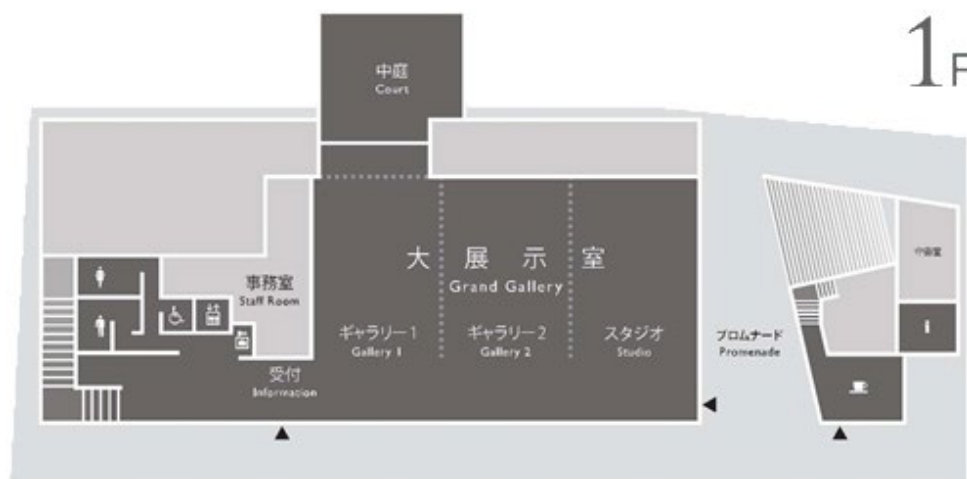
2013年10月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として佐賀大学美術館は誕生しました。美術館と、併せて整備された正門エリアは、「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴するものです。美術館は、総合大学である佐賀大学の魅力を多方面に向けて、より多くの人に知っていただくための情報発信源として活用されています。

〔活動目的〕

佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます。

【館概要】

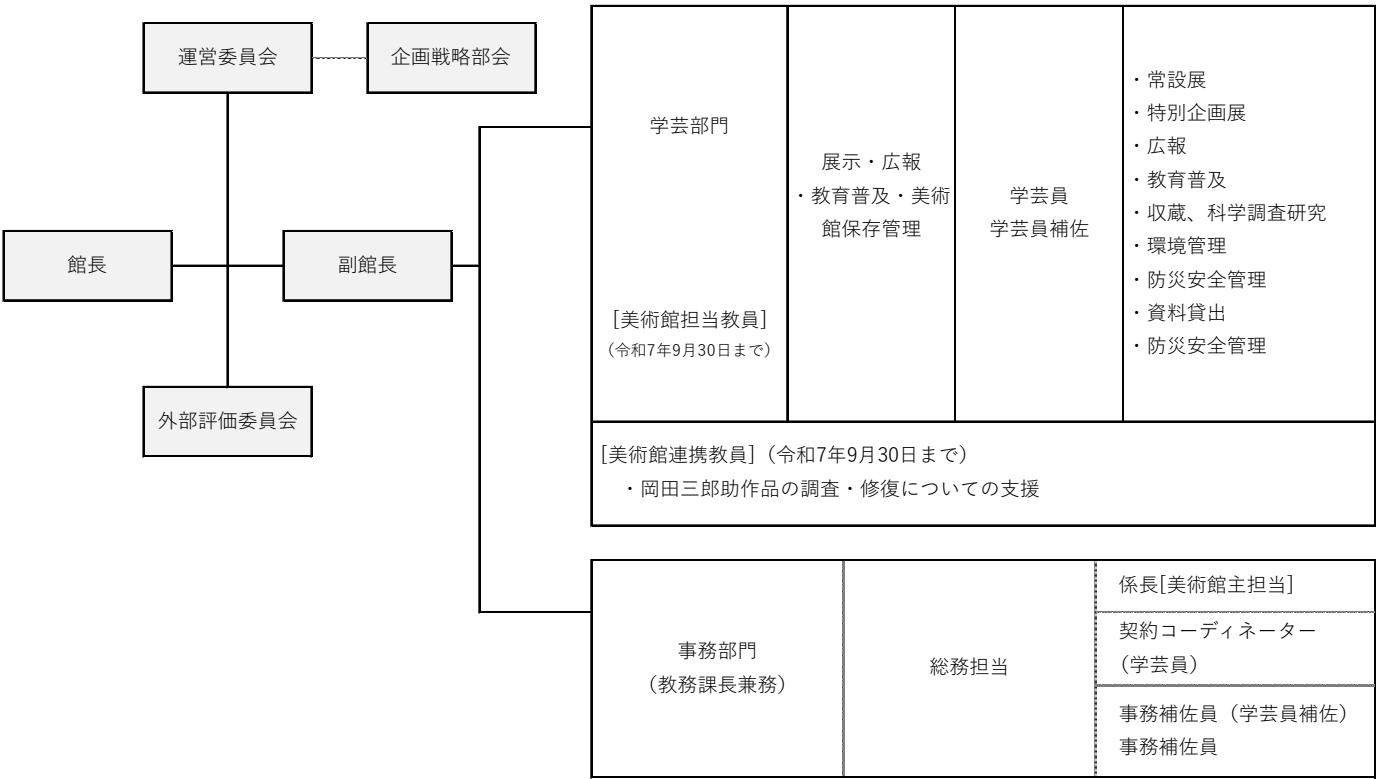
名称	佐賀大学美術館
所在地	佐賀市本庄町 1 番地
基本設計	佐賀大学
実施設計	(株)梓設計九州支社 [協力:(株)ワークヴィジョンズ]
監理	佐賀大学環境施設部
施工	建築:金子建設(株) 電気:(株)佐電工 機械:(株)九電工
構造	鉄骨造・地上 2 階建
延床面積	1,502 m ²
展示面積	462 m ² ギャラリー1 106 m ² ギャラリー2 106 m ² スタジオ 111 m ² 特別展示室 48 m ² 小展示室 34 m ² 歴史展示スペース 57 m ²
その他	プロムナード 中庭 ブリッジ
設備	トイレ 多目的トイレ ロッカー
併設	カフェ (2018 年 11 月まで)



[組織図]

佐賀大学美術館 組織図

令和7年4月1日現在



[職員]

館長(令和7年9月30日まで)	
	渡 孝 則
館長 (令和7年10月1日から)	
	青 木 茂 久
副館長(令和7年9月30日まで)	
	徳 安 和 博
副館長 (令和7年10月1日から)	
	花 田 伸 一
係長	黒 木 幸 代
契約コーディネーター	五 十 嵐 純
事務補佐員(学芸員補佐)	江 口 禎 駿
事務補佐員	吉 丸 マチ子

[企画戦略部会委員(令和7年9月30日まで)]

リーダー	理事	渡 孝 則
委員	教授	徳 安 和 博
委員	准教授	花 田 伸 一
委員	准教授	藤 井 康 隆
委員	学務部長	荒 木 昌 美
委員	係長	黒 木 幸 代
委員	学芸員	五 十 嵐 純
委員	学芸員補佐	江 口 禎 駿

[教員(令和7年9月30日まで)]

美術館担当教員	藤 井 康 隆
美術館連携教員	石 井 美 恵
美術館連携教員	花 田 伸 一

[運営委員]

委員長(館長)	理事	渡 孝 則 (令和7年9月30日まで)
	理事	青 木 茂 久 (令和7年10月1日から)
副委員長(副館長)	教授	徳 安 和 博 (令和7年9月30日まで)
	教授	花 田 伸 一 (令和7年10月1日から)
副委員長	学務部長	荒 木 昌 美
委員	理事	西 郡 大 (令和7年9月30日まで)
	理事	鯉 川 雅 之 (令和7年10月1日から)
委員	教授	栗 山 裕 至
委員	教授	井 川 健
委員	准教授	浅 川 慎 介
委員	教授	坂 田 資 尚
委員	教授	橘 基
委員	教授	近 藤 文 義
委員	佐賀大学同窓会長	山 田 直 行
委員	財務部長	前 田 隆 司

令和8年3月1日現在



1 展示記録(主催展) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	Far Away Hopeful Grand Land はるかなる大地へ
展覧会概要	長編映像作品を中心に紹介する企画展として、「SUAM Screening+」を開始。第1回目は、アムステルダム（オランダ）を拠点に国際的に活躍するRumiko Hagiwara（萩原留美子）の九州初個展として開催した。 
会期	2025/2/28-2025/5/11
開館日数	36日間（2025年4月1日から5月11日までの開館
会場	小展示室、歴史展示スペース
協力	協力：CAVE-AYUMI GALLERY
展示構成	6点
入館者数	1965（2025年4月1日から5月11日までの入館者数）
印刷物	チラシ（A4 4,000部）
関連事業	トークイベント はるかむこう
内容	講師：小坂智子（長崎県美術館 館長）、萩原留美子 日時：2025年3月1日（土） 13:00～14:00 会場 佐賀大学美術館 旧カフェ2階 内容：小坂智子氏をゲストにお呼びし、萩原氏との対談を開催した。 参加者数：20名

関連事業	担当学芸員による展覧会解説		
内容	日時：2025年3月7日（金）14:00～、4月5日（土）14:00～ 会場：小展示室、歴史展示スペース 内容：展覧会の解説を行った。 参加者数：3名		
展示写真			
	  		

No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	Daina from Egypt (Dina	Sea Shanty	2023年	サイズ可変	ミュージックビデオ (03:14)	作家蔵
2	萩原留美子	Far Away Hopeful Grand Land/ はるかなる大地へ	2023／2024年	サイズ可変	映像 (46:00) 助成: モンドリアン財	作家蔵
3	萩原裕子	はるかなる大地へ	2022年	サイズ可変	絵本	作家蔵
4	萩原留美子	HNDKTF	2022年	サイズ可変	糸、ハンカチーフ、箱にシルクスクリーン、紙 コラボレーション: Matheus de	作家蔵
5	萩原留美子	Horizontal Line (Akagi Mountain)/水平線 (赤城山)	2023年 (2016/2018	37.0 × 99.0cm	フォトコラージュ	小川正勝氏蔵、 Courtesy of CAVE-AYUMI
6	酒井碧泉	うみ	2023年	—	書	小川正勝氏蔵

1 展示記録(主催展) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	佐賀大学美術館収蔵品展 Collection Exhibition 第1期
展覧会概要	佐賀大学美術館が開館以後収蔵してきた約110点の収蔵品の中から、これまで展示の機会が多くなかった作品を中心に展示。 
会期	2025/3/18-2025/9/12
開館日数	119日間（2025年4月1日～9月12日までの開館）
会場	特別展示室
展示構成	7点
入館者数	7,836（2025年4月1日～9月12日までの入館者数）
印刷物	目録
関連事業	担当学芸員による展覧会解説

内容

日時：2025年4月5日（土）14:00～、6月6日（金）14:00～
会場：特別展示室
内容：展覧会の解説を行った。
参加者数：3名

展示写真



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	田中宗一	牡丹	1969年	36.7×48.3cm	水彩、紙	佐賀大学美術館
2	村岡平蔵	夏の果物	不明	64.5×70.8cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館
3	久富邦夫	祭の日	1974年	162.0×130.3cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館
4	檜崎重視	五部浄像	1983年	53.0×45.5cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館
5	内山孝	黒土	1961年	130.3×162.1cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館
6	村岡平蔵	新緑	1963年	61.8×69.3cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館
7	立石春美	鯉	不明	70.3×73.5cm	絹本着色	佐賀大学美術館

1 展示記録(主催展) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	触れる、手繰る手つき
展覧会概要	「触れる」をテーマに、現代美術から工芸まで6組の作り手による多様な表現を紹介した。 出品作家：榎本浩子、木下由貴、佐賀錦振興協議会、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、メーガナ・ビシニア、三輪途道／ミルミルつながるプロジェクト（一般社団法人メノキ×株式会社JINS）
会期	2025/10/3-2025/11/30
開館日数	49日間
会場	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
助成	公益財団法人 金子財団
協力	佐賀錦振興協議会、GALERIE SUIRAN
展示構成	137点
入館者数	6,158
印刷物	チラシA4 8,000部、ポスターB2 200部、記録集 B5 46頁 500部
関連事業	『NAIZOUクッション』にみんなで触る人魚集会
内容	講師：ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、チームNAIZOU 日時：2025年10月4日（土）13:00~14:30 会場：佐賀大学美術館 内容： 参加者数：8名



関連事業	佐賀錦手織り体験
内容	講師：佐賀錦振興協議会 日時：2025年11月14日（金）～16日（日） 10:00～16:00 ※最終日のみ 15:00まで 会場：SUAM PLUS 1F 内容：佐賀錦の手織り体験を行った。 参加者数：15名
関連事業	ことばで触れる、かたちの世界 ー手で鑑賞するワークショップー
内容	講師：＜ミルミルつながるプロジェクト/メノキ×JINS＞ 一般社団法人メノキ 代表理事 三輪 途道、一般社団法人メノキ 副代表理事 福西 敏宏、株式会社 ジンズ 地域共生事業部 秋本 真由美 日時：2025年11月22日（土） 13:00～14:30 会場：SUAM PLUS 1階 内容： 参加者数：12名
関連事業	担当学芸員による展覧会解説
内容	日時：2025年11月16日（日） 13:00～14:00 会場：佐賀大学美術館 内容：展覧会解説を行った。 参加者数：2名
展示写真	     

出品リスト

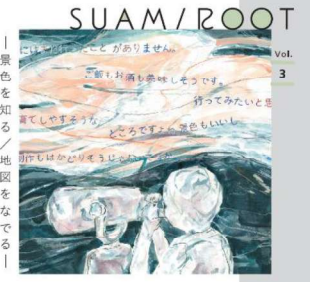
No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵	備考
1	ブブ・ド・ラ・マドレーヌ	瀬戸内海 001	2012年	212.0×412.0cm	帆布にアクリル、鳩	作家蔵	
2	ブブ・ド・ラ・マドレーヌ	玄界灘についてのスケッチ_001	2025年	100.0×80.3cm	アクリル、キャンヴァス	作家蔵	平水および沿岸区域図 (日本小型船舶検査機構、2013 年、999912000 より引用)
3	ブブ・ド・ラ・マドレーヌ	人魚の領土～舟と内臓	2025年	サイズ可変	インスタレーション、舟は個人より借用	作家蔵	地図:『日本及近海 [W1009]』日本水路協会 制作協力:チーム NAIZOU
4	榎本浩子	庭づくろいの絵	2025年	21.0×29.8cm	紙、鉛筆、アクリル	作家蔵	
5	榎本浩子	かわいい、かわいい、あおちゃん	2025年	41.0×31.8cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
6	榎本浩子	虫たち	2025年	22.0×27.3cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
7	榎本浩子	やわらかな時間	2025年	21.0×29.7cm	紙、鉛筆、アクリル	作家蔵	
8	榎本浩子	見てるろく	2025年	24.2×33.3cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
9	榎本浩子	ねこたちよ、たんぽぽの根のように強くあれ	2025年	27.3×22.0cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
10	榎本浩子	草かげから顔をのぞかせるいと	2025年	38.0×45.5cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
11	榎本浩子	レモンの花にかこまれる	2025年	13.2×10.7cm	陶器	作家蔵	
12	榎本浩子	ラッカセイと土の中	2025年	11.5×10.0cm	陶器	作家蔵	
13	榎本浩子	ママちゃんの子猫たち	2025年	10.0×11.8cm	陶器	作家蔵	
14	榎本浩子	ディルとアゲハの幼虫	2025年	7.5×11.6cm	陶器	作家蔵	
15	榎本浩子	種たち	2025年	11.0×11.0cm	陶器	作家蔵	
16	榎本浩子	マリゴールドと雑草	2025年	9.6×9.3cm	陶器	作家蔵	
17	榎本浩子	給湯器の上のしろくろと	2025年	9.7×10.0cm	陶器	作家蔵	
18	榎本浩子	5月の畑	2025年	10.2×10.6cm	陶器	作家蔵	
19	榎本浩子	ピンクのデイズー	2025年	11.0×8.5cm	陶器	作家蔵	
20	榎本浩子	ランに包まれてうたた寝するいと	2025年	31.8×41.0cm	紙、鉛筆、アクリル	作家蔵	
21	榎本浩子	春の畑の白いスミレ	2025年	41.0×31.8cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
22	榎本浩子	真夏の草刈り	2025年	38.0×45.5cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
23	榎本浩子	たぶんキジのたまご	2025年	41.0×31.8cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
24	榎本浩子	畑の野良ねこ	2025年	45.5×53.0cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
25	榎本浩子	耕す、種をまく、育てる、食べる		14.0×14.1×1.9cm	陶器	作家蔵	
26	榎本浩子	玄関で眠るねこ		33.3×24.2cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
27	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
28	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
29	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
30	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
31	榎本浩子	ねるねこの小皿(1)	2025年	9.3×9.3×2.6cm	陶器	作家蔵	
32	榎本浩子	日々のドーイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
33	榎本浩子	眠るいと、新芽	2025年	8.0×6.0×18.5cm	陶器	作家蔵	
34	榎本浩子	forget-me-not	2025年	27.3×22.0cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
35	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
36	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
37	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
38	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
39	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
40	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
41	榎本浩子	庭を楽しむいと	2025年	14.2×14.0×2.7cm	陶器	作家蔵	
42	榎本浩子	ぬいぐるみを運ぶチッチ	2025年	10.0×9.8×2.0cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
43	榎本浩子	矢車菊	2025年	8.0×7.6×2.2cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
44	榎本浩子	日々のドーイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
45	榎本浩子	ねこの置物(4)	2025年	5.9×3.1×2.0cm	陶器	作家蔵	

46	榎本浩子	ねこのかお(3)	2025年	4.5×3.5×2.0cm	陶器	作家蔵	
47	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
48	榎本浩子	サトイモにつくズズメガの幼虫	2025年	5.2×12.2cm	陶器	作家蔵	
49	榎本浩子	チッチとぬいちゃん	2025年	チッチ:7.6×9.7cm、ぬいちゃ	陶器	作家蔵	
50	榎本浩子	ひと株のサトイモ	2025年	12.4×6.7cm	陶器	作家蔵	
51	榎本浩子	豆をまく	2025年	8.0×8.1 cm	陶器	作家蔵	
52	榎本浩子	花とねこ(2)	2025年	33.3×24.2cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
53	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
54	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
55	榎本浩子	ねこの楽園	2025年	7.8×7.8×7.0cm、鉢皿:7.7	陶器	作家蔵	
56	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
57	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
58	榎本浩子	花束(一輪挿し)	2025年	6.5×7.2cm	陶器	作家蔵	
59	榎本浩子	ねこのうつわ	2025年	14.5×14.0×7.6	陶器	作家蔵	
60	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
61	榎本浩子	吐き気とカレンデュラ	2025年	19.0×13.0×	陶器	作家蔵	
62	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
63	榎本浩子	花をつむ	2025年	9.1×8.9×8.0cm、鉢皿:11.0	陶器	作家蔵	
64	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
65	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
66	榎本浩子	(収穫した種)	-	-	-	作家蔵	
67	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
68	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
69	榎本浩子	チコリー	2025年	16.5×9.7×8.5cm、鉢皿:11.2×	陶器	作家蔵	
70	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
71	榎本浩子	ローズマリーの日陰で休むねこ	2025年	15.8×22.7cm	キャンヴァス、油彩	作家蔵	
72	榎本浩子	ねこのための食器(1)	2025年	11.3×11.3×	陶器	作家蔵	
73	榎本浩子	ねこのための食器(2)	2025年	12.0×12.0×	陶器	作家蔵	
74	榎本浩子	新潟で見たチューリップ	2025年	9.4×9.5×7.5cm、鉢皿:9.6	陶器	作家蔵	
75	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
76	榎本浩子	ろくのおひげ入	2025年	8.4×3.1×3.1cm	陶器	作家蔵	
77	榎本浩子	あおのおひげ入	2025年	8.2×3.3×2.7cm	陶器	作家蔵	
78	榎本浩子	チッチのおひげ入れ	2025年	8.4×3.3×3.1cm	陶器	作家蔵	
79	榎本浩子	おちびを見つけた夜	2025年	21.0×29.7cm	布、パステル	作家蔵	
80	榎本浩子	食べられる花	2025年	10.1×10.0×6.0cm、鉢皿:11.5	陶器	作家蔵	
81	榎本浩子	ねこのかお(2)	2025年	4.5×3.5×1.0cm	陶器	作家蔵	
82	榎本浩子	ごろごろねこ(1)	2025年	4.5×2.5×1.5cm	陶器	作家蔵	
83	榎本浩子	ねこの置物(3)	2025年	6.0×3.2×1.3cm	陶器	作家蔵	
84	榎本浩子	日々のドローイング	2025年	-	紙、鉛筆、木炭	作家蔵	
85	榎本浩子	庭づくろい／ Mending Garden	2025年	プロジェクト	ハーブなど	作家蔵	
86	メーガナ・ビシニア	恵しきヤントラ 残酷なマントラ	2023年	2分35秒	映像、音声	作家蔵	
87	メーガナ・ビシニア	ムドラ: 愛されることへの渴望	2023年	2分25秒	映像、音声	作家蔵	
88	メーガナ・ビシニア	ストラ: 縫いてたち	2023年	4分	映像	作家蔵	
89	三輪途道	上履きサークル	2023年	28.0×46.0cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	清水紳一氏蔵	
90	三輪途道	沈黙の犬	2023年	25.5×42.0cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	作家蔵	
91	三輪途道	ママとわたし	2023年	25.0×42.5cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	作家蔵	
92	三輪途道	みえる足元	2023年	26.0×43.0cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	作家蔵	

93	三輪途道	みえない足元	2023年	26.5×42.5cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	作家蔵	
94	三輪途道	赤のじめん	2023年	28.0×46.5cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	作家蔵	
95	三輪途道	上履きとじめん	2023年	28.0×46.5cm	合板、石質粘土、クレヨン、パステル	清水紳一氏蔵	
96	三輪途道	上履きサークル	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
97	三輪途道	沈黙の犬	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
98	三輪途道	ママとわたし	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
99	三輪途道	みえる足元	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
100	三輪途道	みえない足元	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
101	三輪途道	赤のじめん	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
102	三輪途道	上履きとじめん	2023年	28.0×48.0cm	檜、漆	作家蔵	
103	三輪途道	歌舞伎揚げ皿	2022年	14.0×41.0×	脱乾漆、彩色	作家蔵	
104	三輪途道	海苔せんべい皿	2022年	12.0×46.0×	脱乾漆、彩色	作家蔵	
105	三輪途道	醤油せんべい皿	2022年	9.0×47.5×	脱乾漆、彩色	作家蔵	
106	三輪途道	砂糖醤油せんべい皿	2022年	9.0×43.0×	脱乾漆、彩色	作家蔵	
107	三輪途道	しじみの家族 PAPA	2022年	26.5×29.5×	脱乾漆、彩色	作家蔵	
108	三輪途道	しじみの家族 セカンドMAMA	2022年	19.0×30.0×34.0cm	脱乾漆、彩色	作家蔵	
109	佐賀錦振興協議会	佐賀錦懐紙入れ「若菜」	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
110	佐賀錦振興協議会	佐賀錦面袋「檀香梅」	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
111	佐賀錦振興協議会	佐賀錦尺八袋「花明」	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
112	佐賀錦振興協議会	佐賀錦尺八袋「青藍」	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
113	佐賀錦振興協議会	佐賀錦手提げバッグ	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
114	佐賀錦振興協議会	佐賀錦手提げバッグ	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
115	佐賀錦振興協議会	佐賀錦帯締め	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
116	佐賀錦振興協議会	佐賀錦草履	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
117	佐賀錦振興協議会	佐賀錦ひな人形	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
118	佐賀錦振興協議会	佐賀錦雅袋「花菖蒲」	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
119	佐賀錦振興協議会	佐賀錦織機	-	-	-	佐賀錦振興協議会蔵	
120	木下由貴	無題 〈内在の遠景〉より	2014年	23.2×34.8cm	発色現象方式印画	作家蔵	
121	木下由貴	無題 〈内在の遠景〉より	2014年	50.0×50.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
122	木下由貴	無題 〈内在の遠景〉より	2014年	50.0×50.0cm	ゼラチンシルバープリント	作家蔵	
123	木下由貴	無題	2025年	108.5×135.6cm	インクジェットプリント	作家蔵	
124	木下由貴	無題	2025年	105.0×130.0cm	インクジェットプリント	作家蔵	
125	木下由貴	無題	2025年	105.0×157.5cm	インクジェットプリント	作家蔵	
126	木下由貴	無題	2025年	105.0×157.5cm	インクジェットプリント	作家蔵	
127	木下由貴	無題	2025年	105.0×157.5cm	インクジェットプリント	作家蔵	
128	木下由貴	無題	2025年	105.0×157.5cm	インクジェットプリント	作家蔵	
129	木下由貴	無題	2025年	105.0×130.0cm	インクジェットプリント	作家蔵	
130	木下由貴	無題 〈内在の遠景-光-	2024年	29.8×37.2cm	発色現象方式印画	作家蔵	
131	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	24.4×31.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
132	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	24.4×31.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
133	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	17.3×26.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
134	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	17.3×26.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
135	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	17.3×26.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
136	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	17.3×26.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
137	木下由貴	無題 〈淵と瀬〉より	2017年	17.3×26.0cm	発色現象方式印画	作家蔵	
138	木下由貴	無題 〈内在の遠景-光-	2024年	29.8×37.2cm	ゼラチンシルバープリント	作家蔵	

1 展示記録(主催展) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	SUAM/ROOT Vol.3 遠藤夏香 -景色を知る/ 地図をなでる-
展覧会概要	地域の芸術文化交流地点として、様々な人が地域 ゆかりの文化・芸術に触れることを目的に、九州を拠 点に活動をする若手・中堅アーティストを個展形式 で紹介する企画展「SUAM/ROOT」。 第3回目となる本展では、群馬県出身で現在は佐 賀市を拠点に活動を行う遠藤夏香を紹介。 END NATURE 佐賀大学美術館 企画展 遠藤夏香 
会期	2025/10/3-2026/2/15
開館日数	104日間
会場	特別展示室
展示構成	21点
入館者数	13,797
印刷物	ポストカード（B6変形、4,000部）, 目録、記録集（B5、8頁、800部）
関連事業	「てざわりのまち」手を使って大きな地図を描こう！

内容

講師：遠藤夏香

日時：2025年12月6日（土）10:00～11:00

会場：佐賀大学美術館

内容：手のひらを使い、大きな地図を作る子供向けワークショップを開催した。

参加者数：6名

展示写真

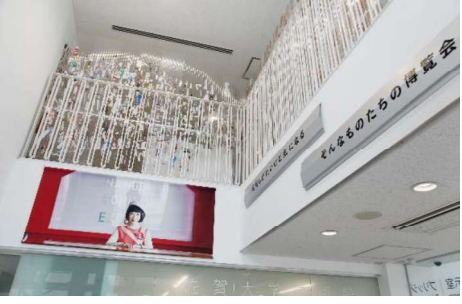


No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	遠藤夏香	良い土地	2025年	34.5×34.5cm	A画用紙、アクリル絵の具、コンテ、ジェツ	作家蔵
2	遠藤夏香	あっそうか佐賀は麦を栽培しているんだった	2025年	155.0×110.0cm	アクリル、M画用紙	作家蔵
3	遠藤夏香	みかんが好きでここにいます		103.0×72.8cm 2 枚組		作家蔵
4	遠藤夏香	どこどこがつながっとるんやろ		155.0×110.0cm		作家蔵
5	遠藤夏香	雨の規模がちがう気がします		72.8×103.0cm		作家蔵
6	遠藤夏香	織りとお喋り		155.0×110.0cm		作家蔵
7	遠藤夏香	星を記す		60.0×85.0cm , 103.0×72.8cm , 45.0×30.0cm		作家蔵
8	遠藤夏香	せんじんにかんしゃしています①	2025年	40.0×32.0cm , 18.0×25.0cm , 25.0×18.0cm , 42.0×29.7cm	アクリル、M画用紙	作家蔵
9	遠藤夏香	山を背に暮らす	2025年	155.0×110. cm	アクリルガッシュ、M画用紙	作家蔵
10	遠藤夏香	せんじんにかんしゃしています②		25.0×18.0cm		作家蔵
11	遠藤夏香	佐賀の夏はあついですから家の中でははだかはどう	2025年	91.0×60.0cm	アクリル、M画用紙	作家蔵
12	遠藤夏香	もうよか		50.0×65.0cm		作家蔵
13	遠藤夏香	絵ば上手に描きんさってですね	2025年	34.5×34.5cm	アクリル、M画用紙	作家蔵
14	遠藤夏香	仏の顔		34.5×34.5cm		作家蔵
15	遠藤夏香	貸し出し延長しとんさですよ	2025年	42.0×30.0cm	アクリル、M画用紙	作家蔵
16	遠藤夏香	じかじか	2025年	34.5×34.5cm	アクリル、M画用紙	作家蔵
17	遠藤夏香	(制作資料)		5分	映像	作家蔵
18	遠藤夏香	ぎゃあっ		13.7×25.0cm		作家蔵
19	遠藤夏香	ワクチン		23.0×29.0cm		作家蔵
20	遠藤夏香	次郎の景色		45.0×30.0cm		作家蔵
21	遠藤夏香	海について		30.0×22.0cm		作家蔵

1 展示記録(主催展) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	第4回 なんでそんなんエキスポ 佐賀
展覧会概要	よくわからないモノにツッコミを入れて楽しみを見出す 博覧会「なんでそんなんエキスポ」。第四回目となる 博覧会を佐賀大学美術館で開催した。
会期	2025/11/1-2026/1/25
開館日数	64日間
会場	小展示室
協力	なんでそんなんプロジェクト / 株式会社ぬか / 放課後等デイサービス ホハル
展示構成	15点
入館者数	9,330
印刷物	チラシ（A3二つ折り、8,000部）、リーフレット（B5、8頁、1,000部）
関連事業	第6回 なんでそんなん大賞【募集】
内容	応募期間：2025年8月1日（金）～11月15日（土） 大賞発表：2025年11月23日（日） ホームページおよびSNS 対象：全ての人（年齢・性別・国籍・障害の有無などは問わず） 参加費：無料・投稿回数無制限 同じ名義で何度でも投稿可能 賞：大賞 米1俵（60kg）、審査員賞 各審査員セレクトの品 審査員：松村圭一郎（文化人類学者）、レオナルド・バルトロメウス（YCAMキュレーター）、花田伸一（キュレーター、佐賀大学芸術地域デザイン学部教授）、藤井るみ子（劇団AFRICA団長）、柳沢秀行（公益財団法人大原芸術財団シニアアドバイザー）

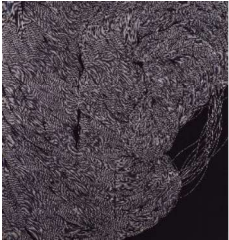
関連事業	なんでそんなんノックン
内容	日時：2025年11月23日（日）13:00～15:00 会場：佐賀大学美術館 集合 登壇者：松村圭一郎（文化人類学者）、レオナルド・バルトロメウス（YCAMキュレーター）、花田伸一（キュレーター、佐賀大学芸術地域デザイン学部教授）、藤井るみ子（劇団AFRICA団長）、柳沢秀行（公益財団法人大原芸術財団シニアアドバイザー） 内容：「なんでそんなん」について、学術や文化に関わる経験豊かな登壇者を迎え、社会問題から日常まで、ユーモアによる新たなコミュニケーションの可能性を探った。 参加者数：45名
関連事業	ツッコミツアーズ
内容	日時：2025年11月2日（日）13:30～14:30 講師：滝沢達史（美術家）、中野厚志（ぬかつくるとこ代表） 会場：佐賀大学美術館 内容：なんでそんなんプロジェクト発起人である中野厚志と、なんでそんなんエキスポ・ディレクターの滝沢達史によるギャラリーツアーを開催した。 参加者数：7名
展示写真	   

出品リスト

No.	作者／行為者	発見者	タイトル
1	村木美乃里	ぬかスタッフ	ガムテープのタネ
2	母ちゃんの息子	母ちゃん	朝の紙
3	久保田沙耶	—	レオの肖像画
4	辻野正三	福岡知之	補強したカッター机
5	柴川敏之	—	2000年後の「なんでそんなん？」
6	—	—	記録映像「第1回なんでそんなんエキスポ(岡山)」
7	中野厚志	丹生和臣(ぬかスタッフ)	クロンの閉め忘れ
8	ハルタニ(3歳・♂)	父	オボットくん
9	リュウスケ	父	靴下長族
10	よっちゃん	たかな	痕跡
11	アキマサ	大野雅孝(父)	傾斜角マイケルなみ
12	かんちゃん	ジョー	太陽の塔 量産型
13	石橋朋花	ぬかスタッフ	ハルマキ
14	石橋朋花	ぬかスタッフ	ハルカベ
15	愛子ママとチッチキチキオ	始動員T	水の水割り

1 展示記録(主催展) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	佐賀大学美術館収蔵品展 Line(2026/5/31まで開催)	
展覧会概要	佐賀大学美術館が開館以降収蔵してきた約110点のコレクションの中から一部選定し、展示を開催します。 本展では、油彩画、日本画、リトグラフ、染色、ブロンズといった異なる表現形式に現れる線を横断的に見ることで、作品に内在する行為性や、その多義的な意味を浮かび上がらせるを試みます。	
会期	2026/2/26-2026/3/31(5/31まで)	
開館日数	26日間（2026年3月31日までの開館日数）	
会場	特別展示室	
展示構成	7点	
入館者数	552名（2026年3月31日までの入館者数）	
印刷物	目録	
関連事業	担当学芸員による展覧会解説	

内容

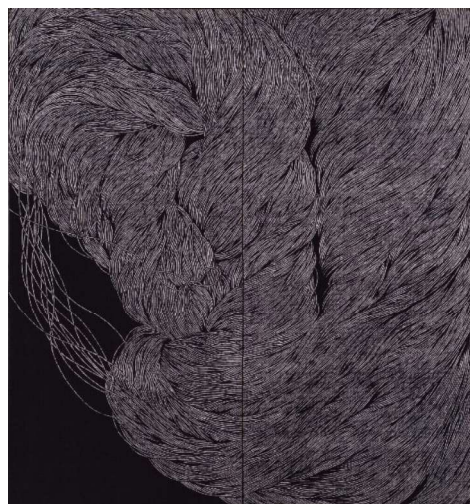
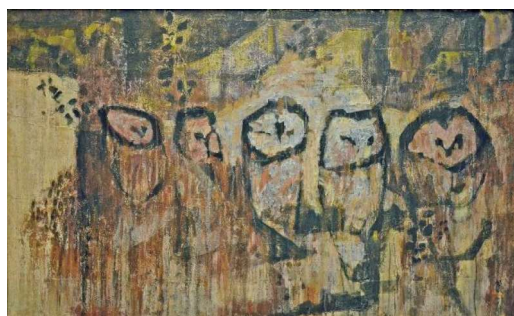
日時：2026年4月25日（土） 14：00～ 14:30

会場：特別展示室

内容：展覧会の解説を行った。

参加者数：4名

展示写真



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材	所蔵
1	海老原喜之助	本を焼く人	1956年	64.1×45.4cm	リトグラフ	佐賀大学美術館
2	井手誠一	銀杏並木秋景	1958年	37.8×45.0cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館
3	藤田隆治	五ひき	1961年	96.3×159.3cm	紙本着色	佐賀大学美術館
4	中牟田佳彰	縄目鑄銅水盤	1985年	42.5×36.0×7.5cm	ブロンズ	佐賀大学美術館
5	田中嘉生	解ける	1982年	180.0×180.0cm	蠟染め	佐賀大学美術館
6	石本秀雄	スケッチブック	1928-1931年	-	鉛筆、紙	佐賀大学美術館
7	石本秀雄	カンナの花	制作年不明	45.4×37.6cm	油彩、キャンヴァス	佐賀大学美術館

展覧会名	An Echo of Visions
展覧会概要	スリッパリーロック大学と佐賀大学の交流の一環として、スリッパリーロック大学の学生3名による作品展示を行った。
会期	2025/5/16-2025/5/22
開館日数	6日間
会場	小展示室、歴史展示スペース
主催	全学教育機構

展覧会名	SAGA DESIGN TALK 2025
展覧会概要	「SAGA DESIGN TALK 2025」では、地域の中で行われているデザイン実践の最前線を理解するため、佐賀で活動するデザイナーをご紹介します、トークイベントを行った。 有田にてデザインの研究を行っているブライアン・アンダーソン氏を招き、地域デザインの領域で行われている最前線の研究と実践について紹介していただき、トークを行った。
会期	2025/6/3
開館日数	1 日間
会場	展示室 1
主催	芸術地域デザイン学部情報デザイン研究室

展覧会名	博物館実習 I 陶磁器資料の整理（一般公開）
展覧会概要	芸術地域デザイン学部が所蔵する陶磁器資料の棚卸点検、整理、調書作成、撮影を博物館業務の実務実践の動態展示として一般に公開して実習を行った。
会期	2025/7/1-2025/7/3
開館日数	3日間
会場	スタジオ
主催	芸術地域デザイン学部（石井美恵先生）

展覧会名	ひらめき☆ときめきサイエンス（科学の目でみるツタンカーメン王の服飾）
展覧会概要	大エジプト博物館が開館するのに合わせて、2008年から実施してきたエジプト人保存修復専門家の育成と、ツタンカーメン王の染織品をはじめとする57組の日本とエジプト人の合同保存修復プロジェクトを写真パネルで紹介。
会期	2025/6/5
開館日数	1 日間
会場	ギャラリー 1 , 2
主催	芸術地域デザイン学部（石井美恵先生）

展覧会名	JSPS日本学術振興会特別研究員 LAURA JOHANNA と芸術地域デザイン学部有田セラミック・田中ゼミ展
展覧会概要	佐賀大学に日本学術振興会の特別研究員として昨年2024年の10月より着任し制作研究活動を行っているKOENIG LAURA JOHANNAさんの制作発表とその研究に協力し触発された田中研究室による研究発表会。
会期	2025/7/13-2025/7/20
開館日数	11日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー2、スタジオ
主催	芸術地域デザイン学部有田セラミック・田中ゼミ

展覧会名	令和7年度 芸術地域デザイン学部共通基礎成果発表展
展覧会概要	佐賀大学芸術地域デザイン学部の1年生が「芸術表現基礎」「地域デザイン基礎」の授業で取り組んだ作品や活動成果が展示された。
会期	2025/7/30-2025/8/8
開館日数	9日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー 2、スタジオ、小展示室、中庭、プロムナード、歴史展示スペース
主催	佐賀大学芸術地域デザイン学部

展覧会名	第48回二紀佐賀支部展
展覧会概要	一般社団法人二紀会佐賀支部 20名による作品展。絵画約40点・彫刻 2 点、総計約42点を展示。
会期	2025/8/20-2025/8/24
開館日数	5日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー2、スタジオ
主催	一般社団法人二紀会佐賀支部

展覧会名	たてものむすび「佐賀大学学部紹介展示」
展覧会概要	佐賀大学本庄地区の教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、理工学部、農学部、コスメティックサイエンス学環による大学・学部等の教育内容・研究活動などを紹介するポスター展を開催。
会期	2025/8/20-2025/9/26
開館日数	33日間
会場	小展示室、歴史展示スペース
主催	佐賀大学社会連携課

展覧会名	九州体育・スポーツ学会第74回大会における学会発表（ポスター展示）
展覧会概要	九州体育・スポーツ学会第74回大会実行委員会における学会発表において、発表されるポスターを展示し発表者と参加者のコムにケーションやディスカッションを促した。
会期	2025/9/6-2025/9/7
開館日数	2日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー2、スタジオ
主催	九州体育・スポーツ学会第74回大会実行委員会

展覧会名	きみにあいたかったよ
展覧会概要	芸術地域デザイン学部日本画専攻3名の学生によるキャラクター表現をテーマにしたグループ展。キャラクター表現を主体にしたドローイングや絵画などを展示。
会期	2025/9/12-2025/9/21
開館日数	9日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー2、スタジオ
主催	日本画専攻有志

展示記録(企画申請) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	さがデザイン student creator 成果展
展覧会概要	佐賀県庁「さがデザイン」のデザイン成果展。佐賀県の行政デザインに1年間関わった中で行ったプロジェクトを中心に、取り組み成果を発表。
会期	2025/10/17-2025/10/18
開館日数	2日間
会場	SUAM PLUS1階、2階
主催	芸術地域デザイン学部 情報デザイン研究室

展覧会名	2025年佐賀大学写真部写真展
展覧会概要	佐賀大学写真部による写真展
会期	2025/10/25-2025/10/26
開館日数	2日間
会場	小展示室、歴史展示スペース
主催	佐賀大学写真部

展覧会名	わたし、さが、〇〇
展覧会概要	芸術地域デザイン学部1・2年生による「さが」をテーマとしたグループ展。わたしを通して見つめた佐賀県を作品にし、学年と専攻の壁を越えたさまざまな作品を楽しむことができました。
会期	2025/10/29-2025/11/12
開館日数	13日間
会場	SUAM PLUS1階
主催	わたし、さが、つくるひと

展示記録(企画申請) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	第66回学童美術展
展覧会概要	佐賀県内の園児および小・中学生が授業で制作した絵画、デザイン、線描作品が展示された。小中学生の学校、各地区、最後に本部の審査で特選を受賞した作品が並んだ。
会期	2025/12/10-2025/12/14
開館日数	5日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー 2
主催	佐賀県造形教育研究会

実習名	2025佐賀県児童生徒発明くふう展および佐賀県未来の科学の夢絵画展
内容	2025佐賀県児童生徒発明くふう展および佐賀県未来の科学の夢絵画展に応募された県内の児童生徒の優秀作品を展示。第83回全日本児童生徒発明くふう点および第47回未来の科学の夢絵画展で恩賜記念賞や内閣総理大臣賞などを受賞した優秀作品を展示した。
会期	2025/12/12-2025/12/14
開館日数	3日間
会場	スタジオ
主催	佐賀県発明協会

展覧会名	第10回児童生徒作品展
展覧会概要	佐賀大学教育学部附属特別支援学校により、展示・鑑賞を通じて児童生徒の情操の学習に取り組むための展覧会が行われた。特別支援学校で学ぶ児童生徒による図工・美術作品、作業製品などが展示された。
会期	2025/12/19-2025/12/20
開館日数	2日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー 2
主催	佐賀大学教育学部附属特別支援学校

展示記録(企画申請) 令和7年度

佐賀大学美術館

展覧会名	令和7年度公共ホール邦楽活性化アクティビティ 和楽器（箏と尺八）ミニコンサート&レクチャー
展覧会概要	現代で日常的に触れる機会が少ない邦楽を身近に感じる箏の演奏会。
会期	2026/1/15
開館日数	1日
会場	スタジオ、SUAM PLUS 1 階
主催	公益財団法人 佐賀市文化振興財団 東予賀文化ホール

展覧会名	第50回佐賀県高等学校書道教師作品展 併設 県高校臨書展生徒優秀作品
展覧会概要	県内の高等学校で書道の授業・部活動を担当している教師による書作品の発表。県内高校生による書道の臨書作品の展示。
会期	2026/1/21-2026/1/25
開館日数	5日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー2、スタジオ
主催	佐賀県高等学校教育研究会書道部会
協力	佐賀県高等学校文化連盟書道専門部

展覧会名	2024年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部・地域デザイン研究科 卒業制作・修了制作 作品展
展覧会概要	佐賀大学芸術地域デザイン学部・地域デザイン研究科による卒業修了制作展。
会期	2026/2/7-2026/2/15
開館日数	8日間
会場	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、プロムナード、歴史展示スペース、 SUAM PLUS1階、2階
主催	佐賀大学芸術地域デザイン学部

展示会名	第16回璞友会作品展
展示会概要	璞友会による書の展示。
会期	2026/2/19/-2026/2/23
開館日数	5日間
会場	小展示室、歴史展示スペース
主催	璞友会

展覧会名	佐賀大学学生書作展
展覧会概要	佐賀大学書道同好会による卒業書作展が行われた。佐賀県書作家協会展、佐賀県書道展、県展などに積極的に取り組んできた学生の集大成となる書作と、指導教官の賛助作品が展示された。
会期	2026/2/26-2026/3/1
開館日数	5日間
会場	ギャラリー 1、ギャラリー 2
主催	佐賀大学 書道同好会

展覧会名	西洋画専攻成果展 あのこのはなし
展覧会概要	芸術地域デザイン学部芸術表現コース西洋画専攻生による絵画を中心とした作品が展示された。
会期	2026/3/5-2026/3/17
日数	9日間
会場	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
主催	芸術地域デザイン学部西洋画専攻

展覧会名	和と信：日本社会におけるスリム建築とコミュニティの理解
展覧会概要	360°プロジェクションマッピング、ワークショップ、VRによる空間体験を通して、日本社会におけるモスク建築とコミュニティへの理解を深める展示。
会期	2026/2/27-2026/3/8
開館日数	9日間
会場	小展示室、歴史展示スペース
主催	和と信 運営団体

展覧会名	地域創生フィールドワーク・與賀神社プロジェクト成果報告展
展覧会概要	芸術地域デザイン学部3年次コア科目「地域創生フィールドワーク」における「與賀神社プロジェクト」の成果発表展。地域の子供を対象とするワークショップも開催。
会期	2026/3/14-2026/3/18
開館日数	4日間
会場	小展示室
主催	佐賀大学芸術地域デザイン学部 與賀神社プロジェクト

展覧会名	第2回こどもがつくるこどものまち「ミニさが」
展覧会概要	佐賀大学教育学部の学生による企画展。 子どもが主役となって、まちを創り運営する「あそびのまち」を実践する。 まちには、市役所、銀行、職業紹介所、お店などがあり、参加する子どもは仕事をして給料を稼ぎ、自分で稼いだお金を自由に使って過ごすなど、大規模なごっこ遊びの場をつくる企画展が開催された。
会期	2026/3/21-2026/3/22
開館日数	2日間
会場	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、プロムナード、歴史展示スペース
主催	こどものまち「ミニさが」実行委員会

4 刊行物

〔刊行物〕

『SUAM/ROOT Vo1.3 -景色を知る/地図をなでる- 遠藤夏香』

〔概要〕 記録集

〔仕様〕 B5版8ページ フルカラー

〔発行部数〕 800部

〔発行日〕 2025年10月3日

『なんでそんなんエキスポ』

〔概要〕 記録集

〔仕様〕 B5版8ページ フルカラー

〔発行部数〕 1000部

〔発行日〕 2025年11月1日

『触れる、手繰る手つき』

〔概要〕 テキスト：触れる、手繰る手つき 五十嵐純/出品作品/
作品リスト/略歴/謝辞

〔仕様〕 B5版45ページ フルカラー

〔発行部数〕 500部

〔発行日〕 2026年3月5日

『佐賀大学美術館令和5年度年報+紀要』

〔概要〕 テキスト：館概要/沿革/組織図/2023年の活動など

〔仕様〕 AB版32ページ 表紙:カラー 本文:モノクロ

〔発行部数〕 400部

〔発行日〕 2025年8月1日

『ニュースレター 2025年夏』号

〔仕様〕 A4版 フルカラー

〔発行部数〕 600部

〔発行日〕 2025年6月19日

『ニュースレター 2026年春』号

〔仕様〕 A4版 フルカラー

〔発行部数〕 300部

〔発行日〕 2026年2月17日

[掲載紙・テレビ]令和7年度

展覧会名	記事名、番組名	日付・放送日	新聞社・テレビ局・ラジオ局
SUAM Screening+ Far Away Hopeful Grand Land は るかなる大地へ 萩原留美子	日常の疑問、多様に表現 オランダ拠点 現代美術家・萩原留美子さん 佐賀大学美術館で個展	4月1日	佐賀新聞
SUAM Screening+ Far Away Hopeful Grand Land は るかなる大地へ 萩原留美子	アートの現場から② 花田伸一 心の痛みや苦しみ 和らげる 大切な笑いの機能	5月6日	佐賀新聞
佐賀大学美術館収蔵品展 Collection Exhibition 第1期	佐賀大学美術館 収蔵品展 色彩、気品あふれる	5月13日	佐賀新聞
触れる、手繰る、手つき	アートの現場から⑦ 花田伸一 自分の「解釈」ひね りだす	10月7日	佐賀新聞
触れる、手繰る手つき	身体的、精神的に“触れる インスタレーションなど多彩 佐賀大学美術館 11月30日まで”	10月28日	佐賀新聞
SUAM/ROOT Vol.3 遠藤夏香	美術作家・遠藤さん（佐賀市）個展 来年2月まで佐大美術館 表現を通し、佐賀を知る	12月23日	佐賀新聞
なんでそんなんエキスポ	多様さ受け入れツッコミ楽しむ 「なんでこんなんエキスポ」 「よく分からないもの」ずらり 佐賀大美術館で九州初 開催	12月9日	佐賀新聞

[見学団体一覧]令和7年度

社：社会人 シ：シニア 学：大学・短大・専門学校生 高：高校生 中：中学生 小：小学生 未：未就学児

団体名	日付	時間	人数	引率	合計	備考
令和7年度新採用職員研修	4月16日	10:15	社 20	1	21	人事課 1
佐賀女子短期大学	4月24日	16:40	学 6	1	7	さぬき
九州産業大学付属九州高等学校	4月25日	11:00	高 80	6	86	
文部科学省研究振興局学術研究推進企画室大鷲室長 ほか2名	6月6日	13:15	社 3	1	4	富田理事
福岡県立筑紫高等学校PTA	6月6日	13:30	社 50	2	52	入試課2人
有明高等学校	6月19日	12:10	高 17	3	20	
九州地区高等学校進路指導研究協議会	6月19日	16:20	社 16	1	17	
長崎県立島原高等学校	6月20日	12:20	社 28	1	29	
佐賀県立伊万里高等学校	7月10日	12:10	高 140	8	148	
熊本県立菊池高等学校	7月16日	12:20	高 38	5	43	
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高校	7月22日	11:00	高 35	1	36	
学校法人常盤学園 常盤高等学校	7月23日	13:40	高 23	2	25	
ゆめたねプロジェクト城東中 城西中 城南中 川副中 諸富中 芙蓉中 ○○中	8月21日	11:10	中 120	7	127	PTA含む
福岡県立八女高等学校 1年生	8月22日	13:30	高 70	5	75	
福岡県立筑紫高等学校	9月17日	13:06	高 200	13	213	アドミッションセンター
佐賀県立武雄青陵中学校	9月18日	12:50	中 60	4	64	
佐賀県立城東中学校	9月19日	11:30	中 10	0	10	
九州産業大学九州高校	9月24日	13:10	高 30	1	31	
福岡県立輝翔館中等教育学校	9月25日	12:45	高 30	3	33	
福岡県立大川樟風高等学校	9月26日	12:30	高 15	2	17	
教養英B スティーブン先生	10月7日	13:40	学 38	1	39	
土屋ゼミ 3年生	10月7日	15:00	学 7	1	8	
九州大学施設部	10月8日	15:30	社 6	0	6	視察
久留米市立久留米高校	10月15日	11:50	社 60	3	63	アドミッションセンター
有重老人クラブ	10月23日	14:30	社 15	0	15	
香田ふれあいサロン	10月28日	11:20	社 16	1	5	
佐賀大学医学部予防医学分野エビメトリクス	10月28日	15:25	社 5		5	
芸術地域デザイン学部柳ゼミ	10月31日	10:00	学 12	1	13	
佐賀県立佐賀商業高等学校 2年	11月5日	10:30	学 55	4	59	
文科省 視察（施設）	11月7日	16:00	社 8	2	10	
リ・オンチヨル先生（元佐大の先生 カトリック上智大学健康増進指導学科（韓国））	11月14日	14:00	社 25	2	27	
アートへの扉 吉住先生	11月15日	10:40	高 34	1	35	
佐賀県立唐津東中学校	11月15日	14:20	中 120	6	126	アドミッションセンター
佐賀大学教育学部 附属幼稚園	11月26日	11:30	学 36		36	ダイバーシティ経由
熊本マリスト学園中学校・高等学校	11月28日	15:00	社 10	2	12	アドミッションセンター
久留米市立久留米商業高等学校 1年	12月9日	14:00	高 200		200	
日本税理士会連合会	12月17日	16:30	社 8	1	9	教育学部
放課後スクール ユニスク	1月10日	13:48	社 9		9	
高校教員書道部会 佐賀西高	1月21日		高 104	3	107	
高校教員書道部会 佐賀北高	1月21日		高 51	2	53	
放課後デイサービス 子供プラス教室	1月24日	11:05	小 12	5	17	
白石町立須古小学校 6年生	2月20日	12:45	小 22	3	25	
白石町立六角小学校 6年生	2月20日	12:45	小 16	2	18	
			社会人	279	17	296
			シ	0	0	0
			学生	0	8	8
			高校	1067	55	1122
			中学	310	17	327
			小学	50	10	60
			未就園	0	0	0
			総合計	1706	107	1813

6 職員の館外会議・研修

名称	日時	会場	主催	出席
令和7年度佐賀県博物館協会総会	令和7年5月22日（木） 14：00～16：00	佐賀県立美術館	佐賀県博物館協会	五十嵐（学芸員） 黒木（係長） 江口（学芸員補佐）
令和7年度佐賀県博物館協会研修会	令和7年11月19日（水） 13：30～16：00	佐賀県立美術館 画廊	佐賀県博物館協会	江口（学芸員補佐）
第5回全国美術館会議定時社員総会	令和7年6月4日（水）	iichiko総合文化センター 大分県立美術館 ホテル日航大分	一般社団法人全国美術館会議	徳安（副館長） 黒木（係長）

5 寄附

[美術館設置募金の経緯]

- 2011 年 6 月 美術館設置募金WG 設置
- 2012 年 4 月 美術館設置事業募金開始
- 2013 年 6 月 寄附者芳名帳を公開
- 美術館規則の制定に伴い、美術館設置募金WG を解散
- 9 月 美術館に高額寄附者銘板を設置
- 10 月 美術館開館後も美術館設置事業募金を継続
- 2026 年 3 月 募金総額 238, 654, 243 円 (2026 年 3 月 31 日現在)



日付	寄付額	合計額
～平成24年3月	3,000,000	3,000,000
平成24年度	13,824,840	96,380,665
平成25年度	825,000	212,233,276
平成26年度	635,000	226,040,276
平成27年度	3,304,000	229,344,276
平成28年度	1,874,387	231,218,663
平成29年度	1,296,431	232,515,094
平成30年度	825,573	233,340,667
令和元年度	862,593	234,203,260
令和2年度	475,532	234,678,792
令和3年度	537,307	235,216,099
令和4年度	498,047	235,714,146
令和5年度	1,817,234	237,531,380
令和6年度	623,499	238,154,879
令和7年度	431,045	238,585,924
目標		600,000,000

佐賀大学美術館 令和7年度展覧会（承認済分）

※数値に重複あり

展覧会	入場者数	会期	日数	主催	展示会場
主催展					
1 Far Away Hopeful Grand Land はるかなる大地へ	1,965	2025/2/28-2025/5/11	36	佐賀大学美術館	小展示室、歴史展示スペース
2 佐賀大学美術館収蔵品展 Collection Exhibition 第1期	9,635	2025/3/18-2025/9/12	131	佐賀大学美術館	特別展示室
3 触れる、手繰る手つき	6,158	2025/10/3-2025/11/30	49	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
4 SIAM/ROOT Vol.3 遼藤夏香	13,797	2025/10/3-2026/2/15	104	佐賀大学美術館	特別展示室
5 なんでそんなんエキスポ	9,330	2025/11/1-2026/1/25	64	佐賀大学美術館	小展示室
6 佐賀大学美術館収蔵品展 Line* (2026/5/31まで開催)	552	2026/2/26-2026/3/31	26	佐賀大学美術館	特別展示室
申請企画展					
1 An Echo of Visions	447	2025/5/16-2025/5/22	6	全学教育機構	小展示室、歴史展示スペース
2 SAGA DESIGN TALK 2025	11	2025/5/28	1	芸術地域デザイン学部情報デザイン研究室	展示室1
3 博物館実習Ⅰ陶磁器資料の整理（一般公開）	470	2025/7/1-2025/7/3	3	芸術地域デザイン学部（石井美恵先生）	スタジオ
4 ひらめき立ときめきサイエンス（科学の目でみるワタンカーメン王の服飾	13	2025/6/5	1	芸術地域デザイン学部（石井美恵先生）	ギャラリー1、2
5 JSPS日本学術振興会特別研究員 LAURA JOHANNA と芸術地域デザイン学部有田セラミック・田中ゼミ展	403	2025/7/16-2025/7/22	6	芸術地域デザイン学部有田セラミック・田中ゼミ	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
6 令和7年度 芸術地域デザイン学部共通基礎成果発表展	2,421	2025/7/30-2025/8/8	9	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、プロムナード、歴史展示スペース
7 第48回二紀佐賀支部展	887	2025/8/20-2025/8/24	5	一般社団法人二紀会佐賀支部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
8 たてものむすび「佐賀大学学部紹介展示」	3,619	2025/8/20-2025/9/26	33	佐賀大学社会連携課	小展示室、歴史展示スペース
9 九州体育・スポーツ学会第74回大会における学会発表（ポスター展示）	368	2025/9/6-2025/9/7	2	九州体育・スポーツ学会第74回大会実行委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
10 きみにあいたかったよ	889	2025/9/12-2025/9/21	9	日本画学生有志	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
11 さがデザイン student creator 成果展	153	2025/10/17-2025/10/18	2	芸術地域デザイン学部 情報デザイン研究室	SIAM PLUS1階、2階
12 2025年佐賀大学写真部写真展	537	2025/10/25-2025/10/26	2	佐賀大学写真部	小展示室、歴史展示スペース
13 わたし、さが、〇〇	1,666	2025/10/29-2025/11/12	13	わたし、さが、つくるひと	SIAM PLUS1階
14 第66回学童美術展	2,458	2025/12/10-2025/12/14	5	佐賀県造形教育研究会	ギャラリー1、ギャラリー2
15 2025佐賀県児童生徒発明くふう展および佐賀県未来の科学の夢絵画展	1,909	2025/12/12-2025/12/14	3	佐賀県発明協会	スタジオ
16 第10回児童生徒作品展	186	2025/12/19-2025/12/20	2	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	ギャラリー1、ギャラリー2
17 令和7年度公共ホール邦楽活性化アクティビティ 和楽器（琴と尺八）ミニコンサート&レクチャー	93	2026/1/15	1	公益財団法人 佐賀市文化振興財団 東予賀文化ホール	ギャラリー1、ギャラリー2
18 第49回佐賀県高等学校書道教師作品展 併設 県高校臨書県生徒優秀作品展	1,076	2026/1/21-2026/1/25	5	佐賀県高等学校教育研究会書道部会 佐賀県高等学校文化連盟書道専門部	ギャラリー1、ギャラリー3、スタジオ
19 2024年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部 卒業制作・修了制作 作品展	1,721	2026/2/7-2026/2/15	8	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、プロムナード、歴史展示スペース
20 第16回環友会作品展	393	2026/2/19-2026/2/23	5	環友会	小展示室、歴史展示スペース
21 佐賀大学学生書作展	702	2026/2/26-2026/3/1	5	佐賀大学書道同好会	ギャラリー1、ギャラリー2
22 和と信：日本社会におけるスリム建築とコミュニティの理解	1,346	2026/2/27-2026/3/8	9	和と信 運営団体	小展示室、歴史展示スペース
23 西洋画専攻成果展	1,100	2026/3/5-2026/3/17	9	芸術地域デザイン学部西洋画専攻	ギャラリー1、ギャラリー3、スタジオ
24 地域創生フィールドワーク・興賀神社プロジェクト成果報告展	280	2026/3/14-2026/3/18	4	佐賀大学芸術地域デザイン学部 興賀神社プロジェクト	小展示室
25 第2回こどもがつくるこどものまち「ミニさが」	346	2026/3/21-2026/3/22	2	こどものまち「ミニさが」実行委員会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、中庭、プロムナード、歴史展示スペース

64,931

令和7年4月1日～令和8年3月31日

年度別入館者実績

※数値に重複なし

	総入館者数	うち有料入館者数	開館日数
平成25年度	27,167	0	125
平成26年度	40,780	2,652	254
平成27年度	37,965	0	281
平成28年度	38,474	0	291
平成29年度	34,718	0	285
平成30年度	31,883	0	273
平成31年度	30,698	0	280
令和2年度	13,929	0	140
令和3年度	17,459	0	271
令和4年度	15,295	0	234
令和5年度	22,135	0	271
令和6年度	31,597	0	227
令和7年度（令和8年3月31現在）	27,935	0	275

370,035

Ⅱ 自己点検・評価

令和 7 年度までの美術館運営の特徴について

当美術館は平成 25 年度 10 月に新制佐賀大学(旧佐賀大学と佐賀医科大学統合による)10 周年を記念して開館した。国内で初の国立総合大学に附属する美術館であり、様々な展示事業を通じて大学の情報や教育・研究の成果を発信するとともに、地域のコミュニティセンターとして市民の方からも気軽に大学に足を運んでもらうきっかけとなることを目指している。

この目的のために大学内の施設ながら常時一般公開し、また、市民団体にも活動の場を提供しながら年間を通して開館している。令和 7 年度は開館から 12 年目となり総来館者数は約 39 万人を超えた。来館者の層は学生や教職員など大学関係者にとどまらず、市民の一般観覧、近隣小中高校からの団体見学など幅広い。本館は「開かれた大学」を象徴する施設としての存在意義を示すと同時に、芸術活動が日常にとけ込んでいる佐賀の文化風土に由来する当館の大きな特長である。

このような市民を含めた利用や、「特美」に由来する美術・工芸教育の伝統と質、芸術と他領域を結びつける総合大学ならではの学際的な試み、佐賀の文化・芸術の紹介等を、卒業生を含む周囲の関係者との緊密な協力関係のもとに実施できることは当館の強みとなっている。

なお、令和 7 年度は新型コロナウイルスによる影響もほとんどなく、来館者数が 5 万人を超えた。令和 6 年 2 月に常勤の学芸員を迎え、主催展の企画も行えるようになり、運営上の問題も少しずつ解決に向かっている。

1. 令和 7 年度の活動の概略

令和 5 年度に佐賀大学美術館は開館 10 周年を迎え、次の 10 年に向けた新たな事業を開始した。過去 10 年間は収蔵品を中心とした主催展を開催していたため、若い学生に求心力のある企画として、企画展、若手アーティストの個展、そして近年全国的にも重要性が問われているソーシャルインクルージョンを意識した展覧会を開催した。また、敷地内の空きスペースを用いたアートプロジェクトを開始した。さらにコロナ禍以前に閉鎖した旧カフェスペースの改装を行い、SUAM PLUS と名称を変更して、美術館の別館として申請企画事業での貸し出しや利用がない期間はフリースペースとして利用できるよう運用を始めた。

令和 7 年度の来館者数は、55,827 人(令和 7 年 3 月末時点)となり、新型コロナウイルス感染拡大以前の来館者数に近いものになってきている。

企画申請事業を主催する学内外の団体に対しての使用料は、令和 7 年度は 25 件、1,143 千円となった。昨年度と比して収入額は 708 千円の減収、光熱水料相当額の振替額は 469 千円であった。その結果、収入総額は 1,612 千円となり前年度の 2,189 千円から 577 千円の減収となっはいるものの、コロナ禍以前の水準に近づくなど、施設利用全体としては回復傾向にある。

(1) 美術館主催事業

令和 7 年度は、前年度に続き次なる 10 年に向け、より美術館のミッションを実現すべく、新しく 3 件を企画、計 4 件の展覧会を主催した。従来から開催していた収蔵作品展も継続して開催した。

・佐賀県や九州地域にゆかりのある若手・中堅作家の活動支援を目的とした小個

展「SUAM/ROOT」開催した。第3回目として、群馬県出身で、現在は佐賀を拠点に活動する遠藤夏香を紹介した。地元出身者・佐賀大学卒業生だけではなく、移住者として活動をするアーティストとして、制作および発表の継続の視点で在学生やこれから本学で学ぼうとする学生たちの一つのロールモデルともなりえると考え、重要な役割を果たしたと考える。

- ・現代美術のみならず地域の工芸品など幅広い表現を「触れる」という視点から紹介した企画展として「触れる、手繰る手つき」展を開催した。国内外・県内外から6組の女性の作り手を紹介し、出品作家のひとりであるブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏は、その後ヴェネチアビエンナーレに出品が決まるなど、世界的な評価をされる作家の紹介をすることができたことは大きな意義があると考ええる。
- ・岡山県内の福祉施設の取り組みから開始し、全国で展開されている「なんでそんなプロジェクト」を九州で初めて紹介した。「日常のよくわからないものにツッコミを入れて楽しみを見出す」というコンセプトは、表現者ではなく、発見者の視点にフォーカスするものとして、鑑賞者の日常の豊かさに気付かせることのできる「表現」への意識を広げるものとして美術館で行う取り組みの可能性を広げてくれたと考える。過去の同プロジェクトの中でも過去最大の参加者を得られたことも評価に値すると考える。
- ・収蔵品展も再開し、令和7年度は「線」をテーマとして、素材や表現方法の異なる作品を紹介した。鑑賞や紹介の方法が固定されがちな収蔵作品を新しい視点で紹介することは、今後の収蔵方針にも前向きな視点を与えてくれるものであると考える。
- ・展覧会のほかに、通年かけて行うプロジェクトとして前年度より準備を介した農業や医療の分野を想定したガーデニングプロジェクト「庭づくり」を開始した。

(2) 企画申請事業

- ① 令和7年度における学部及び大学院の学生による作品の展示としては、スリッパリーロック大学と佐賀大学の交流の一環として「An Echo of Visions」を開催、芸術地域デザイン学部主催による「芸術地域デザイン学部共通基礎成果発表展」、同学部日本画専攻3名の学生による「きみにあいたかったよ!」、同学部1・2年生による「さが」をテーマとしたグループ展「わたし、さが、〇〇」、教育学部学生による「こどもがつくるこどものまち ミニさが」の他、同学部及び地域デザイン研究科による「佐賀大学芸術地域デザイン学部・大学院地域デザイン研究科デザインコース 卒業・修了制作展」などが開催された。また、「SAGA たてものの結び」や「SAGA DESIGN TALK 2025 (情報デザインゼミ イベント)」など、教職員や他部署主催の事業も複数開催された。
- ② 学外者の事業として、二紀佐賀支部による「第48回 二紀佐賀支部展」、佐賀県造形教育研究会による「第66回佐賀県学童美術展」、璞友会による「第16回璞友会作品展」、佐賀県高等学校教育研究会書道部門による「佐賀県高校書道教師作品展」などの他、後援事業も含め10件の利用があり、地域の文化活動の発表の場所としての役割を担うことができた。

(3) 刊行物の発行

触れる、手繰る手つき展の記録集を発行した。

SUAM/ROOT Vol.3 の記録集を発行した。

なんでそんなんエキスポ展の小冊子を発行した。

ニュースレター（冬号）を発行した。

（４）掲載紙・テレビ取材等

11月7日には佐賀テレビの「かちから LIVE イマここ中継」の取材を受け、放映された。また美術系メディア最大手の美術手帖（ウェブ版）にて、「触れる、手繰る手つき」のレビューが掲載された。美術館としても批評媒体が激減している中でも注目いただけたことは、評価に値すると考える。

令和7年度にメディアでの掲載・放映や新聞等には8件が取り上げられた。

また見学団体・視察等は、県内高等学校を中心にのべ43団体、1,813人の来館者を迎えた。

2. 今後の課題等

昨年度の調査で、約110点ある収蔵品がすべて男性作家であることが調査の結果判明し、ジェンダーバランスを調整するため、企画展では女性作家を中心として紹介した。ただし、収蔵品を増やしていくことは容易ではないため、女性作家の収蔵を本格的に進めていく必要がある。

主催展においては、県外からの作家を招聘したこともあり、まずは九州地域内での評価・存在感を示すことができたと考える。一方で、企画や注目の集まる秋の開催を行うと申請企画展（貸し館）の利用が減ること、利用者からの意見も出てくるため、「美術館としての発信の場」と「地域のコミュニティセンターとしての役割・地域の表現者の発信の場」申請企画展（貸しスペース）との兼ね合いをどのように考えるか、より深い議論を進めていくべきであると考えます。

（１）美術館の運営費等

開館以来、美術館の運営費の継続的な確保は最大の課題となっている。入場料を無料としていることから入場料収入を得ることができないため、法人からの予算措置により運用している状況である。事業費、光熱水料、修繕費など今後増えていく可能性があり、補填を寄附金に頼らざるを得ないことも課題である。令和7年度は50万円弱の寄付額となっている。年2回「NEWS LETTER」を発行し、寄附の案内も行っている。今後も寄附増加に向けて、活動を行っていくが大幅な改善は見込めない状況である。

このような状況の下、安定した運営費の確保に資するため、平成26年度以降、施設使用者に対して光熱水費の実費を、さらに平成27年度からは学外者については展示室使用料を徴収している。令和7年度におけるこれらの収入は1,143千円であるが、前年度（2,189千円）と比して大幅な減収となった。施設の貸出は主催展で使用しない場所のみ貸し出しているため、主催展が増えれば、使用料は減っていくため、利用率を高めるよう使用状況を調整したい。

ただ、通年を通しての土日開館を含めた、外部への会場貸し出し業務を行う上で、美術館職員数が4名、うち常勤職員2名の運営体制では、緊急時の対応などができる恐れが高いなど他面での問題も残っている。

また、外部資金の獲得に向け、各所へ申請を行っており、令和7年度も金子財団から助成金を獲得することができた。他にも申請は行っているが、なかなか採択には至らない状況である。今後も外部資金獲得に向け、申請を行っていききたい。

（２）学芸員の処遇改善と安定的確保

学芸員は、令和3年度はほぼ不在状態、令和4年度には2名（フルタイム非常勤1名、パートタイム非常勤1名）を採用していたが、令和7年2月から常勤1名（契約コーディネーター・学芸員）を採用した。フルタイム非常勤1名と2名体制となり、事務職員2名（常勤職員1名と非常勤事務職員1名）と合わせて4人体制となった。フルタイム非常勤が2月末で任期満了となったため、令和7年4月から新規雇用を行い、学芸員補佐を採用した。

（3）主催展の開催

令和7年度は、1階のメインとなるギャラリースペースを用いた展覧会を開催し、また同時期に2つの小規模展を実施することで、盛り上がりを出し創出することができ、メディアの注目およびアンケートや対面の声として、一定の評価を得られたものと考えられる。一方、小規模な公立美術館と比較しても運営費には大きな開きがあり、来場者にとって満足度の高い展覧会を行おうとする場合、参加作家への謝礼が十分に支払えないことや、外部委託分を補うため、職員が追加で業務を行わざるを得ないなど、工夫では改善しがたい負担が増大している現状は継続している。継続性を検討するうえでは、中長期的な活動方針について広く議論し、当館の在り方に沿った事業展開を共有していくべきと考える。

（4）老朽化に伴う施設管理

令和5年10月をもって10周年を迎えた佐賀大学美術館ではすでに老朽化に伴う施設の管理上の問題も顕在化しつつある。令和6年度には、2階特別展示室の扉の開閉ができなくなり、本館で一番重要な展示室がセキュリティ等の問題を抱える状況となった。（令和8年度6－7月に改修を行ったが、臨時休館とせざるを得なかった。）また、2階小展示室の空調不備なども発生しており、現在もメンテナンスや修理が必要となっているが、資金面など問題も多く、令和7年度もまだ対応できていない箇所が多い。事件、事故の防止、発生後の対応や予算措置等を考慮し、中長期的な施設改修の計画を施設課などの担当部署とも十分な検討をしていく必要がある。